

令和4年度 第8回

# 日南市教育委員会

## 会議録

令和4年11月24日(木) 午後1時30分から  
日南市役所・プレハブ会議室（北302号室）

- 1 会議の名称 令和４年度教育委員会 第８回会議（定例）
- 2 会議日時 令和４年１１月２４日（木）  
午後１時２５分から午後２時３５分まで
- 3 出欠確認
  - （１）出席委員 都甲政文 郷谷純一 別府信一、黒木由香、八木真紀子
  - （２）事務局 教育部長兼学校教育課長  
学校教育課学校教育担当監  
学校教育課課長  
学校教育課管理係長  
学校教育課管理係主査
- 4 場所 日南市役所・プレハブ会議室（北３０２号室）
- 5 傍聴者 １名
- 6 開会  
【都甲教育長】  
「それでは、令和４年度第８回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認  
  
【都甲教育長】  
「出席者の確認をいたします。教育委員５名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」  
  
【田中部長】  
「事務局は、全員出席です。」  
  
【都甲教育長】  
「傍聴者は１名お見えになっております。よろしくお願いします。」
- 8 活動報告
  - （１）教育長活動報告

### 【都甲教育長】

・10月28日、令和4年度宮崎県教育委員会連合会研究大会がございました。皆さんと一緒に出かけまして、久しぶりの大会だったんですが、後で皆さん何か感想あればお願いします。

・10月31日、11月17日、学校行事の訪問、これ私の方ですね、何か見に行きたい行事があったらということで、これ今回ですね、10月31日の酒谷小・飢肥小と11月17日の大堂津小に行かせていただきました。まとめて言いますと酒谷小は学校での脱穀作業だったんです。ここ3人の児童にですね、地域のおじいちゃんおばあちゃんが15人ぐらいお見えになってですね、30分ぐらいで終わったんですが本当に楽しそうにですね子ども達一生懸命やってました。これは今後冬休みの前の餅つきとかですね、そういうふうに進んでいくみたいです。

それからその足で飢肥小に行きまして、これは4年生ですね、地域学習で飢肥杉の勉強をするらしいんですよ。東郷の谷木材店の方が来られて実際にその飢肥杉を使ったペン立てみたいなものを作っていました。

それから11月17日の大堂津小は、これは振徳教育の日に絡んでですね、地域の方、元教育長の松田先生っていらっしゃるんですけど、大堂津をととても愛してらっしゃる先生で、昔の写真なんか持って来られて大堂津の昔のことをお話しされてました。

・10月31日、11月10日、11月22日、今回3校の学校訪問を行いました。これにつきましてはまた後で、皆さんからご意見ご感想等をお願いします。

・11月1日、2日にかけて第2回宮崎県都市教育長協議会がございました。これは九市の教育長が集まりましての都市教育長会議だったんですけど行ってまいりました。3年ぶりで協議と情報交換を行ったんですけど、その情報交換の中で、今給食の公会計化といわれているんですよ。公に会計にして、つまり市の予算化をしてですねやったらどうかと。やったらこう推奨するですね国の方でやってるんですけど、そういう進捗状況や各種情報交換をしました。

・11月2日、交通遺児育英会寄附金寄贈式がございました。市のダンス共同同好会の方から交通遺児の育英会へですね、寄附金をいただきました。これはダンスフェスティバルがあったんですけどその基金とか、寄附から集めた寄附金をいただきまして、もう何年も続いています。

・11月3日、日南市功労表彰式典・祝賀会がございました。これは毎年なんですけど、今回は教育文化功労としてですね、市の文化協会の田原会長が賞を受賞されました。

・同日、市の総合文化祭がございました。3年ぶりに行われたんですけど、小村記念館ではお茶ですね。そして文化センターではいろんなことが、ダンスとかハワイアンとかあったんですけど、私文化センターにも行きましたけど、非常にたくさんの方がお見えになっていました。

・11月4日、校長会を行いました。月1の校長会ですけど、この時には運動会のお礼と、14日から人事のヒアリングを予定しておりましたので、ヒアリングに向けてですね、次

年度の構想をしっかりと考えてくださいというふうに伝えました。

・同日、夕方、吾田小学校合唱部の全国大会報告がございました。6年生7名が代表で表敬していただいたんですけど、大会の結果は、今回は銀賞でした。

・11月5日、DENKEN WEEK 視察・オペラ鑑賞に行ってきました。この日から DENKEN WEEK が始まったんですけど、その視察と夜にオペラ鑑賞ということで、服部亭で披露されたんですけど、DENKEN WEEK いろんなところ回って若手芸術家の作品を見たんですけど、本当毎年素晴らしい作品を展示した、されているなということで感心しました。オペラについても総合プロデューサーをしている小松さんの関係で来てくださったらしいんですけど、なかなか聞けないものですね服部亭で聞かせてもらいました。

・11月6日、大野彰展さんと伊東美恵さんによる合唱とオペラの交流会がございました。吾田小学校合唱部との交流をしていただきました。その中でやはり全国大会に行くっていうのを聞いていらっしゃるの、お二人とも非常に熱のこもったアドバイスをしてもらってですね、子ども達にもいい経験になったと思いました。

・11月7日、教頭会がございました。これについては校長を補佐するというので、今回プロ野球オリックスが優勝したんですが、朝日新聞にヘッドコーチの水本さんっていう人の話があったんですよ。この人はプロ野球で全然選手の経験がないんですけど30数年プロ野球の世界の中で生きています。オリンピックにも何回も行っている方なんですけど、その支えるということが大事なんだという話を、ちょっとこの方に結び付けて話をしました。

・11月8日、市議会議員学校給食試食会がございました。市議会議員の給食の試食会は久しぶりになりますが、議会等でもですね、先程言いました給食の公会計化とかいろいろ質問も出るし、議員の方、給食に興味もあると思いますので、実際食べてもらおうということで多くの方に参加してもらいました。

・11月9日、令和4年度第14回日南市小・中学校音楽大会がございました。無観客でしたが、各学校の練習の成果をしっかりと発揮できていたんじゃないかなと。これは午前・午後からもだったんですけど、私は各学校に再度お願いして市の歌を練習させてくれないかと言ったらですね、非常にみんな一生懸命歌ってもうほとんどそらで歌えるんですよ。先生方の指導ありがたいなと思ってですね、5年度、10年後には成人式で大きい声で歌ってくれるといいなと思ってですね、感じたところでした。

・11月12日、グッジョブフェスタがございました。これは、小学校高学年と中学校一年生の職場体験なんですけど、今回はちょっと変えてですね、テクノセンターだったんですけど、本当にこれはですね、参加企業の方がやっぱり熱気がすごいですね。やはりたくさん学んで欲しいしってことで私こう見て思ったのは、今は小5～6、中1なんです。中2ぐらいまで声をかけてもいいのかなと思ったりですね、感じたところでした。

・同日、市のPTA研究大会がございました。3年ぶりということでお伺いさせていただきました。酒谷小学校が小規模校なのにPTAの研究を発表されて、2人しか保護者いないらしいんですけど、そのうちの1名なんですけど丁寧にしていただいて、なんと小規模

特認校のPRまでしてもらってですね、素晴らしい発表でした。そのあと、うちの担当監も教育委員会の取組みについてしっかり資料を用意してもらって、みなさんにお話しをしてくれました。

・同日、被爆ピアノコンサートがございました。これは広島で被爆したピアノを広島の調律師の方が修理されて全国回ってるということで、日南でコンサートを開いたということでした。吾田東小をはじめとして地元の団体も結構出られて、一部と二部ですが、私たちは二部から行ったんですけど、声楽家の方とですね、そのピアノの共演とかというふうな感じで非常に盛況でした。

・11月14日から、校長ヒアリングを3日間かけて行いました。人事異動のヒアリングを行い、校長の次年度の構想を聞かせてもらいました。

・11月15日、租税作文教育表彰がございました。15日から22日にかけて5校ほど訪問しました。これは毎年3年生を中心に租税教育についての作文を出すんですけど、それに関して各学校の入賞者に表彰を行いました。

・11月19日、図書館まつりがございました。お昼から伺ったんですけど、午前中に読み聞かせもあったり、いつもやる古本の取引なんか結構な人がお見えになって、話によると午前中にはもう駐車場が満杯になっていたということで、私は昼から講演していただいたフェニックス自然動物園の園長さんにお会いしたかったものですから行ったんですけど、この方は、この頃「ZOO-1 グランプリ」で結構全国的に顔が知られてるみたいですね、テレビでですね、大阪の天王寺動物園の園長さんだったらしくて、非常にユニークな話をされて面白かったですね。

・11月23日、鵜戸神宮新嘗祭がございました。去年までは参加者を絞っていたんですけど、今年は割と多くて、一番印象に残ったのは、鵜戸小学校の子ども達が神楽を舞ってくれるんですよね。昨日NHKニュースであったと思うんですけど、金の衣装を着てですね、何かああいう形の神楽を見て、高千穂の夜神楽というイメージというのがあるんですけどまたあれとは違ってですね、うちの鵜戸出身の人に聞いたら自分たちが小学校の時からやっていたということで、そうなんだと思って、子ども達にとって励みになるなと思いました。昨日のニュースを見ると、お母さんたちがインタビュー受けてて、よかったですよってました。本人たちじゃなくてですね。

・11月24日、教育支援センターと教育委員との意見交換会がございました。皆さんとの意見交換会だったんですけど、また、ご感想やご意見等がありましたらお願いします。

## (2) 委員活動報告

### 【別府委員】

10月28日に宮崎県の市町村教育委員会連合会の研究大会に参加させていただきました。日向市と諸塚村の研究で、あとこれからの学校教育に関する講演を拝見して参考になりました。

10月31日に榎原小学校の学校訪問に参加いたしました。榎原中学校と同様ですね子ども

も達が本当に素直で素晴らしい子ども達が多いということで、中でも印象に残ったのが他校での不登校気味の児童さんが転校してきて、現時点で登校しているというお話には感銘を受けたところです。また、榎原小学校を選んだ理由が、ネットで検索して雰囲気を見て選ばれたということで、これやっぱり日々の学校のHPの更新というのも大切なんだと感じました。

11月14日、市町村教育委員と県教育委員の意見交換会、こちらに参加してきました。グループディスカッション形式だったんですけど、私たちの参加したグループディスカッションは、不登校児童の問題、また、教員の働き方改革のテーマで意見交換を行ったところです。で、串間市の状況だったり県教委の取り組みや現状も伺うことができてですね非常に参考になる時間でございました。

11月22日の吾田東小学校の学校訪問、日南市では結構生徒数が多い学校であるんですけど、運動会に至っては6年生を育てたいという思いで全学年合同での大会を成功させる等先生達が本当色々工夫をされて、連携がとられているなというふうに感じました。各学年の授業風景も見学させていただいたんですけど、2クラスの学級というのはやっぱり人数が多くて、6年生に至っては何人かくると40人ぎりぎりになってしまうということで、教室も本当にちょっとスペースも厳しいなというところで、教育長もおっしゃんですけど、この人数はやはり1週間先生から声をかけてもらえない生徒さんが出てくる心配もやっぱり出てくるのかなといったところで、この人数の多さというのはちょっと気になる場所でした。

で、本日午前中、教育支援センターとの意見交換会に参加させていただきました。いろいろ聞く中でいろんな課題があるんだなっていうところも感じたんですけども、できることから一つずつ改善していきながら子ども達にとって最適な居場所を作っていただきたいなと感じたところです。

### 【黒木委員】

28日の教育委員会連合研究大会は、その宮崎市教育CIOも務められている神野さんの講話をお聞きして、Society5.0ということで、これからの社会についていろいろな面白いお話を聞くことができて、社会だけでなくやっぱり教育がそこに絡んでいくと、大きな変革が起こってくるんだなあというふうなことを感じた一日でした。

3日の日に私の方もこれ功労表彰式典に出席させていただいて、この審査委員を務めさせていただいてたので、日南市のためにご尽力いただいた大先輩の表彰式参加させていただいて、またこれに続けるような私たち世代も頑張っていけないなというふうに感じました。

12日土曜日は、教育長はじめ部長にも参加いただきましてPTA研究大会が無事に会場にて開催することができて、担当監の立派なお話を保護者に日南市の教育、命の教育のことを伝えられたのはとてもよかったなと思います。参加された方もこんなこと学校で学んでるんだとかとかそういう反響も結構あって、もっと聞きたかったっていう方もい

らっしゃったので、また、それが学校の先生方に伝わって参観日であったり学校の子も達との会話に繋がるといいなあというふうに感じています。

そして今日の教育支援センター訪問は何回か過去訪問させていただいてるんですけど、今日みたいに子ども達がこう生き生きとピアノを弾いたりゲームをしたりしてる姿を見たのはちょっと初めてだったので、今まではこう多くても2人か3人の子が黙々と自習している風景しか見てなかったの、すごく過ごしやすい心地いい空間なんだなと感じたので、もっとこう活用できる、ネット環境が整ったりだとか言われてたような要望が幾つか少しずつでも改善されていて、あそこで過ごせる子ども達が増えるとまたいいのかなと。あとは支援センターの先生達もおっしゃってたんですけど、学校によってやっぱその温度差があるということだったので、そういうお声をこちらが聞ける機会ももっとあるといいなというふうに感じました。いい時間だったのでまた来年もお伺いできたらと思います。

#### 【八木委員】

私も10月28日の研究大会に行かせていただきましたけれども、やはり神野さんですかね、もう情報化社会から今度人工知能時代へ移り変わっていくって話はちょっと衝撃的で、記事も読ませていただきましたけど、これを何か少しずつやっぱり今の先生達頑張ってるのと照らし合わせてこうしていくのかなと。この辺まだ勉強いろいろしていかなければいけないなと思いました。

それから10月31日には榎原小学校に学校訪問させていただきました。「日日新学校」で学び続けるっていうことやってらして本当に子ども達が自身で伝統を伝えられる素晴らしい学校で、子ども達もやさしいという話でとてもいいなと思いました。地域連携が榎原小のよさだとずっと思っているんですけど、やっぱりコロナ禍でそれが難しいっていう現実や肥満傾向の児童が大変増えている、22.7%ということだったんですけど、そういう課題もご紹介いただきました。

11月10日、油津中学校へ学校訪問させていただきました。頑張りノートの活用とか、学力向上、それから働き方の先生達ね改革とかの推進もされていて、やっぱり命を大切にする教育ってのはすごく大事にされていて、毎週の道徳の時間は学級担任だけでなく全職員と行うことで、心の教育の充実を図ることを、そこを進められているのが印象的でした。

それから、11月14日の南那珂教育委員会の意見交換は、串間市とかですねそういう話も聞けたんですけど、やっぱりテーマが不登校ということが一番長く話し合われました。その中でやっぱり家庭の問題も大きいので、福祉や民生委員との意見交換も必要だということが話し挙げられました。

今日の支援学校の視察とか意見交換で話したんですけど、やっぱりそういういろんな機関との繋がり、その中で話し合ったことが大事なのかなと思いました。くろしお教室はもう本当に静と動、1時間2時間の授業を分けてらして、そういう本当に子ども達が過

しやすい場所になるのではないかなと思いました。まあインフラ整備とかねネット環境がないとかそういうことが少しずつこれから改善して行って、不登校多いですのでそういう子ども達がここ救済できる場所が充実できるようにこれからなっていけばいいなというのが感想です。

#### 【郷谷委員】

私も皆さんと同じように 10 月 28 日の研究大会は、若い神野先生の話聞いてとても刺激を受けて帰ってきました。私達にはちょっとこうわからないような内容ですけど、すごい必要だというふうに思って聞いておりました。

それから学校訪問は油津中学校と吾田東小学校を学校訪問させていただきました。油津中学校では今出ましたように頑張りノートの活用というんですかね、家庭学習の習慣付にも繋がると思うんですが、そういうことで授業と家庭学習の推進をされてるんだな、取り組んでいращやるということはわかりましたので、これが学習の意欲に繋がって学力の向上にも繋がるんじゃないかというふうな印象を持ちました。それから吾田東小学校については、学習以前の取り組みでしょうか、学習規律と学習環境と書いてありましたが、例えば 1 分前着席とか、それから立腰とか黙想とか学習用具の確認とかですね、それから机椅子をそろえとか、ごみが落ちていない教室だの環境づくりをするとかですね、そんなことをおっしゃってましたけどまさに学力向上のいわゆる勉強する以前の問題として、そこら辺が大事なかなというふうなことも含めて強く思った次第です。

それから、県の教育委員会委員の人との交換会ですが、私は A 班だったんですけど、県の教育委員会の方が 3 名、それから串間が 2 名で私と 6 名でいろんな意見交換をしたんですが、市町村教育委員会が抱える課題の解決に向けてというテーマだったんですけど、A 班はいろいろ質問事項が書いてあったんですが、最初に日南市の取り組みということで事前に資料を準備していただいておりますので、それをもとにして説明しました。A 班で出た意見交換の主な内容はですね、ヤングケアラーについて話が出まして、何か 9 月にですね、アンケート実施をしておりますと、対象は小学校 6 年生と中 2 と高 2 を対象にしましたと。今年度中にまとめができるので、それで実態把握をして具体的にはどうするかということについてまたいろいろ検討しますということでしたが、そのうちに調査の結果がわかるんじゃないかと思うんですけど、その時出た内容は社会福祉協議会とか、福祉関係の方たちと学校が連携をして、そういう該当の子どもさんがいる場合はですね、どういう支援が必要かということについての研究をすることが必要じゃないかということをおっしゃっておりました。

全部で 12 名でしたかね。県の教育委員が 5 名、串間市が 4 名、日南が 3 名、あと事務局の 2 時から 1 時間半ほどありました。

## 9 前回の議事録承認

### 第 7 回の議事録について了承



## 10 研修

### 「生徒指導に関する報告について」 益留指導主事説明

#### 【別府委員】

今日、教育支援センターの方に訪問させていただいて、こういう場合、今まで事例があったかどうかちょっとわからないんですけど、その子が例えば市外だったりとか県外とかに引っ越しになった場合なんですけど、そういった場合の次の学校への情報の引継ぎ等というのは、例えば学校ではなく、教育支援センターですずっと通われている子だったらその子の状況というのはアドバイザーさんであったり巡回相談員の方がわかっているんだろうと思うんですけど、引継ぎってというのはそちらの方からどういった形でお願いしているんですか。

#### 【益留主事】

支援センター在籍の生徒が転出した場合ですね。基本的に毎月支援センターからは毎月の支援センターでの活動の報告が各学校に送られております。それをもとに、各学校で情報を把握していますので、各学校通常の転出入の際に渡される指導要録を付し、こちらの写しが送られることによって、その在籍していた学校での学習の記録として引き継がれるというふうに考えます。

#### 【黒木委員】

教育支援センターのところで、学習指導員っていうのはその担当校がなく要請があった時に行くってことだったんですけど、その通年としてこの学校にいるわけではなくて、そういった要請が学校から単発的にあるってことですな。

#### 【益留主事】

まず、別室登校、例えばある学校に別室登校のお子さんがいるとして、小学校がそのお子さんに学習指導が必要かどうかの判断をされて、それで必要だと思われたらうちに要請があるので、その学校が最初から決まってるわけじゃないです。

#### 【黒木委員】

それが何校か重なったりした場合は。時間をずらして先生が行かれるということですか。

#### 【益留主事】

はい、調整をしています。学習指導員と話しているのが、ある程度別室登校のルーティンができていない子じゃないと、せっかく行ったのにいないというのが発生するので、いたりいなかったりではなく、結構ずっとちゃんと来て来て別室登校で学校の様子で帰るってことが結構いるんですよ。

#### 【黒木委員】

学校にそもそも別に特別クラスみたいなのがあったりするのとまた別でってこと

ですか。

【益留主事】

特別支援学級ではなくて、本当は授業を受けないといけないんだけど、例えば30、40人規模の学級に入ることが難しいお子さんで、それですぐ不登校になるケースもあるんですけど、学校にはちゃんと来られる子もいますね、別室ならとかですね。1人で落ち着いた環境であれば学習ができるっていうお子さんも結構いますので、そこへのニーズの取り方とか。

【黒木委員】

毎時間その先生が教えるんじゃないじゃなくて、時々こう様子を見に行くじゃなくて、週に1回なりその決まったルーティンで行って対面の授業をされるということですか。

【益留主事】

そうですね。授業というより個別指導、そのお子さんが勉強してる教科に合わせながらですね、例えば1週間に1回とか2回とかルーティンができていれば、ある程度その一定期間そこに学校に通って学習指導員が指導するような流れもつくれますし。

【黒木委員】

指導員さんがいらっしやらない時はそこで自学をするっていうことですかね。

【益留主事】

もちろんその前提として学校の先生方が入れ替わり立ち代わりに見にはこられてるんでしょうけど、1時間ついて勉強するのに何かこう、個別に教えたりするのが必要な子もいて、その部分ですね。

【黒木委員】

もう1点先程の濱田さんってスクールサポートチームの人数を見てると、濱田さん巡回相談員と兼ねているので、この巡回相談員の中にその濱田さんが入っているということなるんですよね。

【益留主事】

はい、そのとおりです。

【郷谷委員】

ちょっと今黒木委員の質問と重複しますが、黒潮教室にですね、適応指導教室に常駐されている方は前田先生と野脇先生が2人ということですか。

【益留主事】

2人です。

【郷谷委員】

学習指導員の1名の方はあそこの支援センターにはいらっしやらないことになるんですよね。

【益留主事】

いや、支援センターで指導することもあります。

【郷谷委員】

その方はいつもどこにいますか。

【益留主事】

その学校から要請があって動くし、時期によって多かったり少なかったりするんですね、この月曜日から金曜日まで。開所の支援センターのうち、2人常駐の曜日が火・水・木で、月曜と金曜はどちらか1人になります。そこにこの学習指導員が勤務して月曜・金曜を2人体制にしている日もあります。必ずではないです、あくまでその学校から要請があった場合そっち優先になりますので、そういった動き方をしています。

【郷谷委員】

それと今日質問すればよかったんですけど、黒潮教室にここまで来ますよね、そうすると午前中4コマしかないのに、いろいろこう割り振りが書いてあったけれども、その学習するのはですよ、それぞれ学年が違うので教材は自分で持ってきて、何か課題かなにかを自分で持ってきて、それをするわけですかね。

【益留主事】

今日自分の勉強するものをして、それに個別に指導に入るということになります。

【郷谷委員】

そのときはわからないところを、手を挙げて質問したりとかいうふうなことで進められていくわけですね。

【都甲教育長】

あそこは毎年問題集とか置いてあるのかな。

【益留主事】

はい、問題集は今置いてある分は使います。毎年更新というのを、その時に必要なものを購入しているという感じです。

【八木委員】

その学校の不登校の子たち大体は保健室にいるということではないんですか。保健室でよく勉強しているとかありますが。

【益留主事】

様々ですね。さっきの別室だったり、保健室にしか行けないという子もいますし、相談員の部屋を設けてくださっている学校もあるので、学校の状況に応じて不登校傾向の子が過ごしている部屋というのは様々なのかな。

【八木委員】

今サポートチームあるんですけども、この人数で回しているとか足りないとかそういうのありますか。

【益留主事】

色んな話が出たように、どうしてもその決められた時間での動きになりますので、毎日いれば助かりますね。どうしても今1人で何校か回る体制ですので、どうしても

その1校に1人っていうところまではっていない現状です。

【都甲教育長】

私はやっぱ考えるんですけど、相談員の方が各学校にいつもいてくれたらいいんですけど、なかなかやっぱそれは難しいからですよ、24人必要なので、6倍。そこを考えると、先生方のやっぱり資質向上、カウンセリングをするような力をつけるとかですね、そういうのも大事なのかなって。先生達も忙しいとか言いながらも見つけなきゃいけない時間でもあったので、最優先にそういう相談とかですね、そういうのも大事なかと。だから、私は言ってるのは、校長先生達にこういう方がいらっしゃるからといって丸投げにはしないでくれと。やっぱりあくまで主体は学校なんだということで、例えばケース会議っているのを開きますけど、その時にどこが音頭を取るとかってのは非常にこれですね、関係機関の連携と言いながらもなかなか難しいんですよ。福祉なのか教育委員会か学校なのか。その見極めもだながら連携というのは簡単に言いますが、自分の役割をしっかりとわかっての連携じゃないと。学校がやらないといけないことを他のところやらせたりとか、やっぱりそういうところもあるから、そういう意味じゃ普段からいろいろ意見交換しながらやっていくのが必要があるのかなという感じがするんですよ。本当は実際もうちょっと人が増えれば一番いいんですけど、なかなかそれも難しいからですね。

【黒木委員】

この巡回相談員とかは何か資格的なものが、ソーシャルワーカーがいっぱいいると思うんですけど、巡回相談員さんとかっている人はどういう方をお願いされてるんですか。

【益留主事】

資格云々ではなくて巡回相談員はいろんな人材が混ざってますけど、元教職員ですね、教員退職をされた方、或いは学校関係教員ではないけど、学校関係の支援とかですね、そういったポジションで動かれた方々です。ですからその資格のあるなしってのは非常に必要なんですけど、案件によって、重大な事案になってくるとやはりスクールカウンセラーが必要になります、資格持ってるので。ただ、そのスクールカウンセラーとかが動く前段階のクッションとしての役割っていうふうに位置付けているというところについては意味あると思います。

【都甲教育長】

一番はやっぱり、しっかり共感して話を聞けるってのが一番なので、そういう方なんですよね。それはだから、学校関係のOBじゃなくてもいいんですよねよ、いろんなお仕事されてる方でも。ただしこれはなかなか難しい仕事なので、声かけてもですね、はいはいっていうのはないんですよ。やっぱりこっちからいろいろこう手を尽くしてどういう方がいらっしゃいますかという、今の方もずっと続けていただくこともね、もう数年たては難しいので、後をどうするかということですよ。

【黒木委員】

これはやっぱりその報酬面とかそういうところも予算があったりとか、人員の人数もやっぱり制限があったりするということですね。

【都甲教育長】

なかなかたくさんは正直ね、たくさんはあれなんですよ。だから本当の気持ち半分はもう奉仕みたいな形ですわね、気持ちでやってもらう。だからって甘えちゃいけないところもあるんですけどね。そういうのあって、少しでも気持ちよく仕事してもらうためには、その受け入れる学校の環境って大事だと思うんですよ。先ほどあったように、例えばいい例として、ああいうふうに来てもらう時に、職員室に机があるないで全然違うんですよ。2週間に1回しか来ないから机椅子とか置かないとか、2週間に1回は来てもらえるからちゃんと机椅子は置いておこうよ。これ全然違うじゃないですか、そういうところなんですよね。ですから本当に気持ちよく仕事してもらうためには、そういう環境づくり大事かなというふうに思っています。たしか今日ちらっと出たのは、そこら辺ももっともっとしっかりしなきゃいけないのかなということですね。

1 1 議事について

議事 1 12月議会上程議案等について

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| (田中部長)  | 12月議会上程議案等について説明。(学校教育課) |
| (長本課長)  | ”(生涯学習課)                 |
| (都甲教育長) | これについてはよろしいでしょうか。        |

1 2 報告について

報告 1 令和4年度他市町村教育委員会との意見交換について

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| (蛸原主査)  | 令和4年度他市町村教育委員会との意見交換について説明 |
| (都甲教育長) | これについてはよろしいでしょうか。          |

1 3 その他

(1) 12月行事予定について

(2) 第9回 教育委員会会議(定例)

① 日時 令和4年12月22日(木) 午後3時から

② 場所 日南市役所・プレハブ会議室(北302号室)

(3) その他

① 1～2月の定例教育委員会の開催について

1月と2月の定例教育委員会は南郷地区、北郷地区で開催を予定。  
詳細は会場を調整し改めて報告する。

14 閉会